

## 平成30年度NACCSプログラム変更要望一覧（平成30年度実施案件）

No.	業務内容	業務コード	変更等事項	現行内容	変更等要望内容	効果	検討結果
H30-005	蔵入申請	IDC	保税工場へのIM（移入）申請をしております。IS（蔵入）申請は通常保税工場へは行いませんが、チェック機能が無く、承認がおりてしまうことが判明致しました。間違いが発生する可能性がある為、保税工場へは蔵入承認できないように申請時にガードを掛けて頂きたい。	次期NACCSテストにより判明			「輸入申告事項登録(IDA)」業務等において、移入承認申請又は移出輸入申告以外の場合であって「蔵入等先保税地域コード」欄に保税工場の保税地域コードが入力されたときは、ワーニング処理とする機能を追加します。また、IM申請の場合、入力可能な保税地域コードは保税工場のみとする変更も併せて実施します。
H30-017	管理資料	H01	輸出申告一覧データ	ナックス配信の管理資料である「H01輸出申告一覧データ」では、少額申告扱いの代表統番がランクである。	少額申告でも、統番が入力されている場合は、データとして集計して欲しい。	本データを通関業務明細簿として利用する場合、少額欄の統番を手作業で埋める作業が軽減される。	「輸出申告一覧データ」について、輸出申告、積戻し申告又は特定輸出申告に係る少額扱いに関して、統計品目番号の入力がある場合は、統計品目番号4桁又は6桁を出力するように変更します。
H30-044	OLT01業務	OLT	航空業務コードOLTにて、出力情報を入力者以外の発送地、到着地の保税蔵置場にも出力先として設定してほしい。	Air-NACCSにて保税運送申告を行い、税関から承認された時の出力情報が、入力者のみに出力される。	承認後の出力情報を発送地、到着地の保税蔵置場も出力先として設定してほしい。※SEA-NACCSの保税運送承認と同様の扱いにしてほしい。	記帳義務違反、無許可搬出防止	「保税運送申告(一般)(OLT01)」業務、「保税運送申告(一括)(GOL01)」業務、「保税運送申告審査終了登録(GET01)」業務において、発送地(GOL業務を除く)及び到着地宛に承認情報と同等のEXC型帳票を出力するように変更します。また、承認後の訂正、取消についても、同様に出力対象とします。 なお、当該出力要否の設定を保税地域単位に設定可能となるよう、「保税地域関連情報登録(UBA)」業務に設定項目の追加を行います。
H30-045	搬入確認登録	BIN	IS、IMの搬入先でも確認登録ができるようにして頂きたい。	税関官署へ報告後、CAS業務をさせていただいている。			民間において確認登録が可能となるよう、CAS業務の見直し(CAS相当の新規業務の検討も含む)を実施します。
H30-046	搬入確認登録	CAS	航空貨物取扱IS(蔵入)貨物搬入登録を、税関官署へ依頼をしましたが、IAW(貨物情報照会)に、CAS業務の履歴がありませんでしたので、履歴が見れるようにして頂きたい。	※上記要望の続きとなります。			IAW業務において、CAS業務の実施履歴を照会可能とします。
H30-048	管理資料情報S14航空輸出貨物搬出入データのデータ収集機の見直し	管理資料情報S14	管理資料情報S14航空輸出貨物搬出データのデータ収集機の見直し	カルネ通関等で税関がNACCSにPAE登録を行ったにもかかわらずデータ収集がされていない	輸出等許可となった時点でデータを収集するか、管理資料と同様に搬出確認時にデータを収集する	S14の管理資料が政令で定める記帳義務を満たす内容となる	PAE業務、「許可・承認等情報登録(監視)(PAK)」業務において、マニュアル許可を行った実績について、管理資料S14の収集対象となるよう変更します。
H30-055	WebNACCSによる入港前統一申請書類状態確認	WPT WVS	WPT業務で過去の危険物情報を他の情報と一緒に参照できるようにして欲しい。	WPT業務の申請等呼出及びファイル読み込み機能に危険物情報を読み込む機能が無い。又、WVS業務のダウンロード機能に危険物情報と一緒にダウンロードする機能が無い。	WPT業務の申請等呼出及びファイル読み込み機能に危険物情報を読み込む機能を追加して欲しい。又、WVS業務のダウンロード機能に危険物情報と一緒にダウンロードする機能を追加して欲しい。	内航船は船とバースによって、許可を受ける危険物情報がほぼボタン化されているため、他の情報と危険物情報を連動(一元管理)する方が効率が良い。CSVツールはWPT業務に危険物情報を読み込むまでの手順が多すぎて効率が著しく悪い。イレギュラーな場合のみ使えればそれで良い。(添付したファイル内に情報が正しく書き込まれているかの確認もできない)	「申請等呼出」で呼出しを行った場合、危険物・乗組員・旅客情報で以下の対応を実施します。 ・手入力した情報(乗組員:30件、旅客:20件、危険物:20件) 申請情報に含み、入力画面上に呼出しを行う。(その後、修正作業も可能) ・CSVファイルのアップロードで入力した情報アップロードファイルを紐づけた状態で呼出しを行う。  ファイル読み込み機能への対応は改修規模が大きいため、対応は見送らせていただきます。
H30-071	WebNACCSにおけるWPT、WIT業務機能の改善	WPT WIT	-	入港届(転届届)提出情報(WIT)にてマニュアル処理識別、乗組員が常に38(マニュアル)になる(WPT送信時システム処理を選択し乗組員情報を提出済みにもかかわらず)	WIT送信時、マニュアルかシステムの選択を出来るようにして欲しい。	-	「入港届(転届届)(WIT)」業務の入力画面に、項目を追加しシステム処理かマニュアル処理を選択できるように変更します。
H30-104		ICG	貨物情報照会	輸出貨物の場合、倉替元からBOC(搬出確認登録)の処理が行われないと、搬入先倉庫では貨物情報の閲覧を行うことができない。	ECR(輸出貨物登録情報)の時点でバンニング場所(蔵置コード)の登録がされているので、BOC(搬出確認登録)が行われていなくてもICG(貨物情報照会)の閲覧を可能に。	許可・承認貨物(輸出)情報にブックニングNO.の記載がない為、この書類だけではどのコンソリ扱いなのか(本船が被るコンソリが多い為)確認できない。ICG(貨物情報照会)にはブックニングNO.の記載がある為、倉替元が搬出前でも閲覧し、確認する事ができる。	ECR業務において「経由地」が登録されている場合、当該経由地の保税蔵置場であれば、BOC業務未実施前であっても、「貨物情報照会(ICG)」業務による照会を可能とします。

No.	業務内容	業務コード	変更等事項	現行内容	変更等要望内容	効果	検討結果
H30-105		BOC	BOC（搬出確認登録）の取消	倉替元からBOC（搬出確認登録）が行われ、なんらかの都合で取消が行われた場合、倉替先にNACCSから出力される情報は、搬出番号と輸出管理番号だけである。	搬出番号と輸出管理番号の他に本船名、ブッキングNO.の記載をしてほしい。	搬出取消の情報が出力され、どの貨物が確認したくとも10G（貨物情報照会）ではBOC（搬出確認登録）されていないので閲覧することができない故、要望内容項目が追加されれば確認しやすくなる。（社内システムでは取込したNACCS情報の上書きがないため、同じ輸出管理番号で搬出番号違いの情報がでてきてしまう為、搬入処理を行う場合間違いを防げる）	BOC業務後に取消が行われた場合に出力する「搬出取消通知情報（SAT012）」に、本船名、ブッキング番号を追加する変更を実施します。
H30-113		SIR11 ECR11	SIR11船積指図書（S/I）情報登録呼出しの記号番号をECR11輸出貨物情報登録呼出しに展開されるようにしていただきたい	現行NACCSではSIR11船積指図書（S/I）情報登録呼出しの記号番号がECR11輸出貨物情報登録呼出し時に展開されていたが6次NACCSへの移行に伴い、記号番号が展開されなくなりました。	現行NACCSと同じように、6次NACCSでもSIR11船積指図書（S/I）情報登録呼出しの記号番号をECR11輸出貨物情報登録呼出しに展開されるようにして頂きたい。	SIRからECRに記号番号が展開されなければ、記号番号をECRに一件ごとに貼り付けねばならず、作業効率が大変悪くなる。現行NACCSと同じシステムにさせていただくことで作業効率の悪化を防ぐことができる。	SIR業務で登録された「記号番号」について、ECR業務の「記号番号」欄の桁数の範囲内で呼び出せるように変更します（ECR業務の桁数を超える場合は、超える部分を削除します。）。